

報道関係者各位

2022年5月30日

**岐阜県養老町「YORO f f i c e」が自治体関連テレワーク施設として
初めて「共同利用型オフィス等セキュリティ認証プログラム」の
トリプルスターに適合**

～自治体の取組みと連携し、地域によらず安全安心な働き方を支援する
セキュリティ環境の整備を促進～

https://japan-telework.or.jp/news/newsrelease_20220530

一般社団法人日本テレワーク協会
一般社団法人セキュア IoT プラットフォーム協議会
岐阜県養老町
一般社団法人地域観光資源開発推進機構

一般社団法人日本テレワーク協会および一般社団法人セキュア IoT プラットフォーム協議会は、岐阜県養老町のテレワーク施設「YORO f f i c e」について、「共同利用型オフィス等^{*1}セキュリティ認証プログラム」（以下「認証プログラム」）に基づく審査を実施し、本認証プログラムとして最高レベルのトリプルスターに適合していることを認証しました。認証された施設は、短期・中期の滞在者の増加による経済効果の拡大と企業進出による関係人口や移住者の増加を目的に、町内の未利用施設（旧養老町地域福祉センター）について、高度なセキュリティ機能を装備したテレワーク施設に改修したものです。

この認証は、認証機関である一般社団法人日本テレワーク協会および一般社団法人セキュア IoT プラットフォーム協議会が、令和3年3月に発刊した「共同利用型オフィス等で備えたいセキュリティ対策について（第2版）」を認証基準とし、指定検査事業者^{*2}が情報セキュリティ監査およびネットワークとWi-Fiの脆弱性検査を実施した結果をもとに、認証基準への適合性を認証したものです。

岐阜県養老町では、養老の滝や養老公園といった全国的な観光コンテンツの知名度を強みとして、今回ビジネスでの利用に十分な機能を備えた、テレワークの拠点施設を整備することで、仕事持ち込みでの長期滞在や、合宿、研修、事業所開設等の企業ニーズに応え、多様な関係人口の拡大を目指しています。

全国の地域観光資源の目利きと、継続した開発を支援する一般社団法人地域観光資源開発推進機構は、テレワーク施設整備の請負者として、企業が施設を選択する重要な基準の1つであるセキュリティ面について整備を進めました。

養老町のテレワーク拠点「YORO f f i c e」では、高度なセキュリティが実装された

安心安全な仕事環境を利用者に提供するという地域活性化の方針に基づき、「認証プログラム」への適合性整備が進められ、今回の認証取得に至りました。

- 認証取得施設

養老町テレワーク施設 YOROffice (ヨロフィス)

適合レベル：★★★トリプルスター

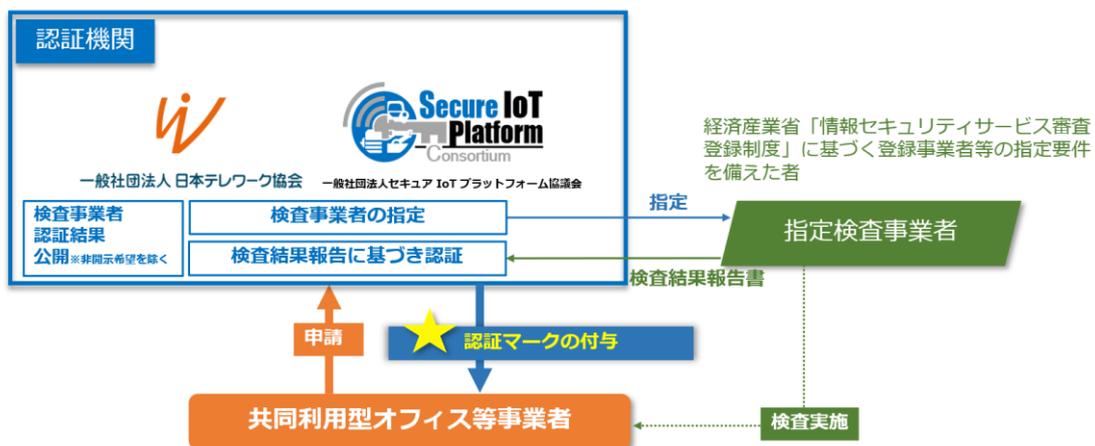
岐阜県養老郡養老町若宮 353 番地

<https://yoroffice.jp/>

- 適合レベル：★★★トリプルスター

「共同利用型オフィス等で備えたいセキュリティ対策について(第2版)」に準拠した高度な情報セキュリティ対策が構築されており、利用者が信頼してテレワークが可能」

- 認証プログラム運営体制



認証機関である日本テレワーク協会とセキュア IoT プラットフォーム協議会は、政府のテレワーク推進施策とも連携しながら、自治体のセキュアな共同利用型オフィスの整備支援に加えて、民間が運営する首都圏等都市部の大型多店舗施設や地方の中小規模施設、さらに自社専用のサテライトオフィスにおいても、安心安全なワークプレイスの整備支援を目指して、認証プログラムの推進に取り組んでまいります。

※1 共同利用型オフィス等とは、民間企業および、自治体等行政機関が運営するコワーキングスペース、レンタル、シェア、サテライトオフィス等を指します。

※2 指定検査事業者

以下の基準の全てを満たすこと。

【基準】

- ・ ISO/IEC 27001 (JIS Q 27001) 等の認証取得企業。
- ・ 経済産業省「情報セキュリティサービス審査登録制度」に基づく、情報セキュリティサービス基準適合サービスリストに登録されている企業。
- ・ 以下に例示する内容相当の資格を保有し、かつ監査・診断において一定の実務経験がある技術者が検査に従事すること。
公認情報セキュリティ監査人、公認システム監査人、CISA、システム監査技術者、情報処理安全確保支援士、CEH、CISSP、CISM、GIAC 等

● 役割

- ・ 一般社団法人日本テレワーク協会
「共同利用型オフィス等セキュリティ対策に係る認証プログラム」認証機関
- ・ 一般社団法人セキュア IoT プラットフォーム協議会
「共同利用型オフィス等セキュリティ対策に係る認証プログラム」認証機関
- ・ 岐阜県養老町
「養老町テレワーク施設 YOROFFICE (ヨロフィス)」整備団体
- ・ 一般社団法人地域観光資源開発推進機構
「養老町テレワーク施設 YOROFFICE (ヨロフィス)」整備請負事業者

【お問い合わせ先】

「共同利用型オフィス等のセキュリティ対策に係る認証プログラム」事務局

担当：江辺（えべ）、白水（しろうず）、瀬瀬（せせ）

メール：contact@secure-iot.org

このたび養老町テレワーク施設が、「共同利用型オフィス等セキュリティ認証プログラム」の認証を取得したことに対して、本プログラムに関わる各団体・各社より以下の通りコメントしています。

- 一般社団法人日本テレワーク協会(認証機関)

会長 栗原 博

今回認証を取得された、養老町テレワーク施設「YORO f f i c e」は正にビジネスグレードと呼ぶにふさわしい仕上がりとなっています。テレワーク時の安心安全確保が必須の企業等は是非ご利用いただきたいと思います。

- 一般社団法人セキュア IoT プラットフォーム協議会(認証機関)

理事長 辻井 重男

岐阜県養老町において、高いセキュリティ基準を満たし、多目的に活用できる素晴らしいテレワーク施設として「YORO f f i c e」が開設されたことをうれしく思います。今後、この場所を起点に、企業進出や移住促進による地域活性化が展開されることを期待いたします。

- 岐阜県養老町

町長 大橋 孝

新たに誕生した養老町のビジネス・ランドマーク「YORO f f i c e」は、企業や地域の人々が仕事を通じて生まれる交流をきっかけに、養老町との関わりを深め、その日のタスクによって最適な場所を選んで働くことができる空間を提供していきます。是非、養老町へお越しいただき、YORO f f i c eをご利用ください。

- 一般社団法人地域観光資源開発推進機構

代表理事 井上 幸一

地方の関係人口の増加を目指す国の大きな施策に「デジタル田園都市構想」があります。その中で「テレワーク・ワーケーション」は大いに注目されています。人口減少・働き方改革、そして地域活性化。養老町に誕生したYORO f f i c eが地方の一つのモデルケースになると確信しています。